

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築環境総合性能評価システム (2016年) | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	グランドメゾンThe本山鹿子町 新築工事	階数	地上4F地下3F
建設地	名古屋市千種区鹿子町六丁目5-1の一部、5-6、5-9、5-11の一部	構造	RC造
用途地域	第一種低層住居専用地域、宅地造成等規制区域	平均居住人員	156 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年8月 予定	評価の実施日	2023年4月14日
敷地面積	2,864 m ²	作成者	
建築面積	1,432 m ²	確認日	2023年4月14日
延床面積	6,434 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 62%
③上記+②以外の 62%
④上記+ 62%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 (スコア= 3.4)

音環境	3.7
温熱環境	3.5
光・視環境	2.8
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

機能性	3.5
耐用性	3.0
対応性	3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.0

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (スコア= 4.3)

建物外皮の	5.0
自然エネ	2.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.9
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

地球温暖化	4.5
地域環境	2.5
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
斜面地に沿うように、3段の建物形状とすることで、周囲からの圧迫感を軽減を図った。		
Q1 室内環境 Low-Eガラスを採用することで、高い断熱性能の住環境を確保した。	Q2 サービス性能 日本住宅性能評価基準「3-1劣化等級」における等級3を確保した。	Q3 室外環境 (敷地内) 道路や隣地境界に緑地帯を確保する植栽計画とすることで、景観に配慮した。
LR1 エネルギー 低炭素建築物認定取得を目標に、高い断熱性能を有し、一次エネルギー削減のための設備計画を行った。	LR2 資源・マテリアル 節水こまや節水型便器を採用し、環境負荷低減に努めた。	LR3 敷地外環境 ディスプレイを設け、生ごみの軽減に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

グランドメゾンThe本山鹿子町 新築工事

- 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
- 評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				4.1
LR1	エネルギー	4.3	0.4	/
LR3.1	地球温暖化への配慮	4.5	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				2.9
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	/
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				3.0
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	/
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.9	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

結果

1. 温暖化対策	評価点 = 4.1
2. 自然共生	評価点 = 2.9
3. 循環型社会	評価点 = 3.0

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。